情報公開文書（当科は下記の研究を行っております。）

2026/3/26 作成 version.1.1

１．研究の名称：我が国の重症患者に対する腎代替療法マネジメントの実態調査

２．研究の審査と許可：本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学附属病院の倫理委員会の審査を受け、各研究機関の長の許可を受けて実施しています(医の倫理委員会承認番号 R5315)。

３．研究機関の名称・研究責任者の氏名

＜研究代表機関＞

研究代表者：京都大学大学初期診療・救急科　山田　博之

＜共同研究機関＞

施設名：京都医療センター

責任者名：救命救急科　センター長　趙　晃済

４．研究の目的と意義：この研究では、日本の ICU 集中治療室（ICU）に入院中に「腎代替療法（透析などの腎臓を助ける治療)」を受けた方の病気の経過や、その後の体の回復状況を調べます。あわせて、各病院の ICUICU でどのように腎代替療法が行われているかについても調査します。

５．対象となる期間：診療録の検索期間として、2015 年 1 月から 2024 年 12 月まで

６．研究対象者：2015 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに日本 ICU 患者データベース（JIPAD）に参加している国立大学病院の集中治療室(ICU)に入室し、その入室期間中に間欠的腎代替療法または持続的腎代替療法を受けた患者

７．研究方法：生命予後などの経過や ICU で過ごした日数などを調べます。また、2024 年度に国立大学医学部附属病院の血液浄化部門が行ったアンケートの結果を用いて、各病院の ICU で腎代替療法がどのように管理されているかも調査します。

８．個人情報保護の仕組み：本研究で得られた患者さんの診療記録や検査結果といった個人情報は厳重に保護し、患者さん個人が特定されないよう連結可能匿名化を行うなど取り扱いには十分留意します。また、今回収集するデータは本研究のみに使用します。患者さんの個人を尊重し、情報の取り扱いにも十分に留意し、「疫学研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。

９．了解を求める事項：この研究の結果は、研究に関連する学会や学術雑誌等で発表されることがありますが、その際も対象となった個々の症例の報告はなされず、集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、個人情報は守られます。また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当者にお申し出ください。

１０．問い合わせ先：

＜研究代表機関＞
京都大学大学院医学研究科　初期診療・救急医学　山田　博之
〒606 -8507 京都市左京区聖護院川原町 54
TEL：075-751-3111